

【令和3年度 新しい未来の庁舎のあり方等調査業務】 今後の進め方※最終報告のイメージ

中間報告では、ポストコロナ時代に求められる庁舎機能を提示した。今後は、更なる調査・研究に加え、清水のまちづくりにおける庁舎の役割を見直し、年度末には最終報告として「新しい清水庁舎のあり方」を示していく。

最終報告については、まず、静岡市の3庁舎共通項目として、中間報告を基に、導入すべき具体的機能や必要面積をシミュレーションして提示する。

次に、来庁者調査などの意見や、まちづくりの変化を踏まえ、現計画との相違点を洗い出し、令和4年度からの議論のベースとなる「新しい清水庁舎のあり方」を示していく。

